

港区

港区は、都心にあって緑と水辺、起伏に富んだ自然の地形に恵まれ、先人から受け継ぎ大切に守ってきた歴史と伝統が息づく、多様な魅力にあふれる街です。

区内には「住」と「働・娯楽・文化」等のエリアがバランスよく調和しています。現在、区内各地では、美しさと災害への強さを兼ね備えた、誰もが誇りに思える洗練された都市を目指し、区民、企業等、行政が連携し、活気あふれる街づくりが進められています。



街づくりの指導・誘導



品川駅周辺は、羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備などに関連して、今後大規模な開発が行われ、街が大きく変わろうとしています。

土木造園、建築職の職員は、開発を行う民間事業者に対し、計画の指導・誘導を行います。敷地単位ではない地域全体の街づくりを考えられるのは、自治体職員ならではの醍醐味です。



(画像提供：JR東日本)

区有施設の整備



▶港区立赤坂中学校
(令和4年8月運用開始)

子どもや高齢者の増加に対応するため、公共施設の整備を計画的に進めています。区有施設の整備にあたっては、建築、機械、電気職が連携し、工事の設計及び監督を行います。



道路・橋りょうの整備、維持管理



水辺空間の魅力をさらに向上させるため、運河に架かる橋りょうのライトアップを実施しています。

▶芝浦西運河に架かる渚橋

公園の整備、維持管理、活用



- ▶(左)港区立高橋是清翁記念公園ライトアップイベント
- ▶(右)港区立芝公園ヨガイベント

港区の公園では、指定管理者制度を導入し、それぞれの公園特性を踏まえたイベントを行うなど、公園から街のにぎわいを創出しています。

低炭素まちづくりの推進



港区は、二酸化炭素排出量が23区で最も多いことから、低炭素・脱炭素の取組に力を入れています。

街づくり分野での取組例



- ▶(上) 協定木材を使用した区有施設(木質化の推進)
- ▶(下左)電気自動車のコミュニティバス
- ▶(下右)自転車シェアリング

近年、港区に入区した技術職は、約4割が女性です。



男性職員の育児休業取得も進んでおり、男女ともに働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

